

Veins for Lifeという考え方をご存知ですか？

Veins for Lifeとは、早くからCVポートなどのカテーテルを使用して点滴を行い、手や腕の血管を後々まで温存する考え方です。



点滴ルートを手や腕の細い血管からCVポートなどに変更すると、**90%以上**の患者様で針を刺される負担が軽くなったとお答えされました。

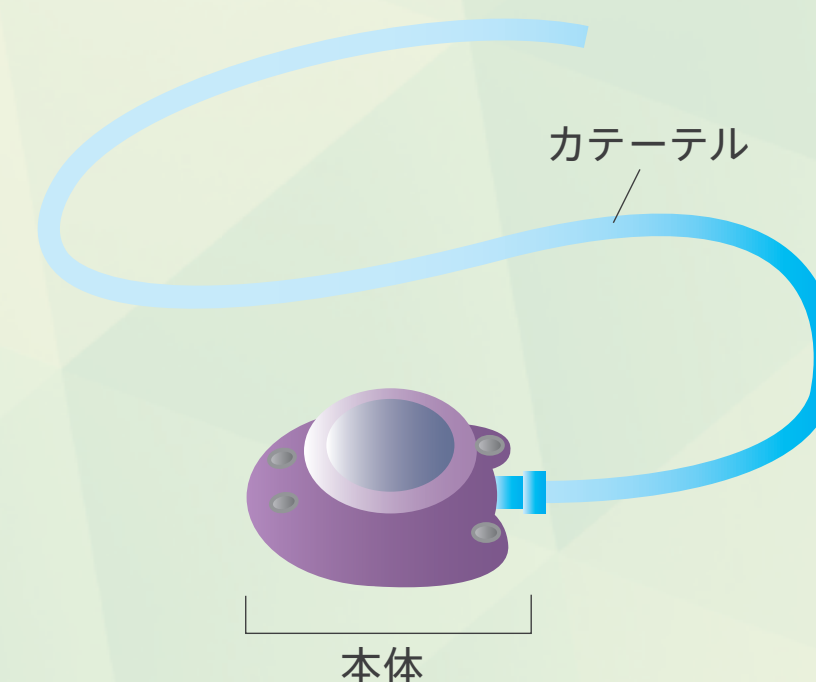
くり返し腕や手の細い血管を使うと、使える血管がだんだんなくなり針を刺すことが難しくなります。こうなる前に早くからCVポートを使用して点滴を行うと、手や腕の血管を後々まで残すことができます。

腕や手の細い血管で化学療法を開始した場合、59%の患者さんで針を刺すことのできる血管がなくなり、結局何らかの点滴用カテーテル(CVポートを含む)が必要になるという報告があります。

CVポートは化学療法などで繰り返し点滴が必要な期間だけ体に埋め込んで使用します。不要になれば取り出します。

CVポートとは？

ポートは、血管内に薬剤を注入するための医療機器です。
ポートは完全に皮膚の下に埋め込まれます。そのため、その部分が少し体表上に盛り上がるだけです。



CVポートを使用すると普段通りの活動的な生活が楽しめます。



外食



お風呂



スキンシップ



旅行



水泳



フィットネス

www.VEINS4LIFE.com

Reference:

1. Chernecky C. Satisfaction versus dissatisfaction with venous access devices in outpatient oncology: a pilot study. Oncology Nursing Forum 2001;28(10):1613-1616
2. Bard Access Systems Blinded Mail Survey with Oncology Nurses 2008. At the request of Bard Access Systems, Inc., the Oncology Nursing Society randomly selected 1,000 names from its mailing list. From the 1,000 randomly selected names, Bard Access Systems, Inc., selected 200 names. A total of 134 surveys were received. The net response rate was 74%. Data on file at Bard Access Systems, Inc., Salt Lake City, Utah.

ご興味のある方は、スタッフまでご相談ください。

監修：関西医科大学附属病院 血管造影IVR科 谷川 昇・狩谷秀治

株式会社メディコン

